

山东大学

二〇一九年招收攻读硕士学位研究生入学考试试题

科目代码 213 科目名称 翻译硕士日语

(答案必须写在答卷纸上, 写在试题上无效)

一、词汇语法。(每小题1分, 共15分)

次の文の()にはどんな言葉を入れたらよいか。最も適当な言葉を選びなさい。

- (1) 道に迷わないように、木の板に()をつけた。
1 目安 2 目下 3 目上 4 目印
- (2) 部屋が狭いので、なるべく広く使えるように()している。
1 工夫 2 知恵 3 見方 4 小遣い
- (3) ある種の()には気持ちを落ち若かせる働きがあります。
1 かざり 2 こおり 3 かおり 4 かわり
- (4) うどんの()で眼鏡がくもってしまった。
1 けわり 2 ゆげ 3 こおり 4 みず
- (5) 楽しみにしていたボーナスが少なくて、()が出た。
1 あくび 2 ためいき 3 くしゃみ 4 いびき
- (6) 私はデニスの()に入っています。
1 サークル 2 コンクール 3 サービス 4 コンサート
- (7) かみなりのときはテレビの()を抜いたほうがいい。
1 ベテラン 2 スイッチ 3 アクセント 4 コンセント
- (8) セーターをそんなに()、のびてしまうよ。
1 とったら 2 つまんだら 3 あんだら 4 ひっぱったら
- (9) 曲がってくる車もあるから、信号が青でも()はいけないよ。
1 判断して 2 診断して 3 判断して 4 決断して

(10) 私は人と()のが好きなので、営業の仕事を選びました。

- 1 達する 2 接する 3 たがやす 4 育てる

(11) 彼は、約束の時間()にやってきた。

- 1 がっくり 2 ぎっしり 3 くっきり 4 きっかり

(12) 子供に勉強を()しても、かえって逆効果だ。

- 1 脅迫 2 強制 3 制御 4 管理

(13) 日本は食料のかなりの部分を輸入に()している。

- 1 依存 2 契約 3 委任 4 依頼

(14) 練習はとても厳しかったが、私はただの一度も()ことはなかった。

- 1 さっした 2 のがれた 3 さっばた 4 さけた

(15) 姉の洋服を、()着て出かけた。

- 1 ひっそり 2 こっそり 3 あっさり 4 そっくり

二、次の文の_____の部分に入れるのに最も適当なものを、A・B・C・D

から一つ選びなさい。(1点×15=15点)

1. 今日の午後はちょっと早めに_____いただきたいのですが。

- A 帰られて B 帰らせて C 帰されて D 帰らされて

2. 手術後の経過が順調だったら、来週は散歩に出ても_____。

- A むりである B わりもない C さしつかえる D さしつかえない

3. 日本は戦後、法律の上では男女が同格に_____、依然として、現実には女性が差別を受けている。

- A なるように B なったからこそ

- C なってからというもの D なったとはいえ

4. 環境問題の解決策を_____、熱心な議論が続いている。

- A 通じて B めぐって C まわって D こめて

5. いつも迷惑をかけていると_____つつも、つい甘えてしまう。

- A 知り B 知る C 知って D 知れ
6. 今年の米は温暖な気候と適度な雨量とが_____豊作となった。
- A あぎわいて B あてがって C あいまって D あたいして
7. 友達の励まし_____作品の完成はなかったであろう。
- A なくしては B なくとも C ないまでも D ないでは
8. 困った_____, 妹にお金を借りることにした。
- A ながら B あげく C より D まま
9. この辺りは静かな_____, 駅にも近いので、住むところとしてとてもいい。
- A に加え B に限らず C 一方で D 上で
10. 母がセーターを送ってくれた_____寒くても平気です。
- A のおかげで B おかげで C のおかげさまで D おかげさまで
11. そんなことは太陽が西から出ると同じくらい、_____話だよ。
- A あり得る B あり得ない C ありかねない D ありがた
12. 生活が安定している_____, この国に住み続けるつもりだ。
- A としたら B ものなら C さえ D かぎり
13. 橋本さんはこのところ学校を_____がむだ。
- A 休み B 休みに C 休むの D 休む
14. 議会の決定_____設定されたことの条例は四月から施行されるそうだ。
- A をちゆうしんに B をめぐって C にもとづいて D をはこめとして
15. あの難しい試験を受けてみたところ、幸い_____及第した。
- A にして B ばかりは C をもって D にもまして

三、次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(毎題 20 分, 共 40 分)

(一) (毎小題 2 分, 共 20 分)

水は低きに流れ、人は高きに集まる。世界各国の近世経済史は、一次産業人口の二次、三次産業への流出、つまり、人口や産業の都市集中をつうじて、国民総生産の拡大と国民所得の増加が達成されてきたことを示している。農村から都市へ、高い所得と便利な

暮らしを求める人びとの流れは、今日の近代文明を築きあげる原動力と(A)、(イ)日本もその例外ではない、明治維新から百年あまりのあいだ、わが国は工業化と都市化の高まり(B)力強く発展した。(コ)

(C)、昭和三十年代にはじまった日本経済の高度成長によって東京、大阪など太平洋ベルト地帯へ産業、人口が過度集中し、わが国は世界に a 類例をみない高密度社会を形成するにいたった。巨大都市は過密のルツボで病み、あえぎ、いらだっている(D)、農村は若者が減って高齢化し、成長のエネルギーを失おうとしている。都市人口の急増は、ウサギを追う山もなく、小ブナを釣る川もない大都会の小さなアパートがただひとつの敬婦という人をふやした。(ハ)

明治百年をひとつのトフシ目にして、都市集中のメリットは、いま明らかにデメリットへ変わった。国民がいまなによりも求めているのは、過密と過疎の弊害の同時解消であり、美しく、住みよい国土で将来に不安なく、豊かに暮らしていけることである。そのためには都市集中の奔流を大胆に転換して、民族の活力と日本経済のたくましい余力を日本列島の全域に向けて展開することである。工業の全国的な再配置と知識集約化、全国新幹線と高速自動車道の建設、情報・通信網のネットワークの形成などをテコにして、都市と農村、d 表日本と裏日本の格差は必ずなくすことができる。(ニ)

また、ひらかれた国際経済社会のなかで、日本が平和に生き、国際協調の道を歩きつづけられるかどうかは、国内の産業構造と地域構造の積極的な改革に(E)といえよう。その意味で日本列島の改造こそはこんごの内政のいちばん重要な課題である。私は商業と文化と自然とが融和した地域社会を全国十におし広め、すべての地域の人びとが自分たちの郷里に誇りをもって生活できる日本社会の実現に全力を傾けたい。私はことし三月、永年勲統議員として衆議院から表彰を受けた。私はこれを機会に“国上開発、都市問題”と一緒に歩いてきた二十五年間の道のりをふりかえるとともに、新しい視野と角度と立場から日本列島改造の e 処方箋を書きあげ、世に問うことにした。国民および関係者各位の参考になれば、たいへん、しあわせである。

1. (A)に入る適当なものを選びなさい。

①なっている ②なっていた ③なっておいた ④なってきた

2. (B) に入る適切な言葉を選びなさい。

①に比例して ②につれて ③にともなって ④とともに

3. (C) に入る適切な言葉を選びなさい。

①ところで ②ところが ③しかも ④そして

4. 下線部 a「類例をみない」の意味を日本語で説明しなさい。

5. (D) に入る適切な言葉を選びなさい。

①反面 ②一方 ③半面 ④がても

6. 下線部 b「フシ目」の意味を日本語で説明しなさい。

7. (E) に入る適切な言葉を選びなさい。

①かかわっている ②つながっている

③かかっている ④つなでいる

8. 下線部 c「通信経」と e「処方箋」の発音を平仮名で書きなさい。

9. 下線部 d「表日本と裏日本」とはそれぞれどのような日本か、それぞれ 20 字以内で答えなさい。

10. 次の文は (イ) ~ (ニ) のどこに入るか、記号で選びなさい。

これでは日本民族のすぐれた資質、伝統を次の世代へつないでいくのも困難となる。

(二) (每小题 2 分、共 20 分)

ここ数年、アメリカ式能力主義への切り替えが叫ばれ、さまざまな提案、試みがなされているが、現実的には多くの困難をかかえている。いずれの社会においても、この年功序列制と能力制という二つの方法は、(A) 存在し、組織として取り入れられてい

るわけであるが、日本の場合、つねに前者に圧倒的な比重がかかり、バランスがいつもそちらにかかるとい現象が (B)。

組織として年功序列制の長所は、いったん雇用関係が設定されれば、その後、何ら変更・是正の処置を取る必要がないというシステムティックな運営にある。もちろん、この方法を取る前提には、個人の能力差というものをミニマムに考えるわけで、それは、a せいぜい、学歴差といった大雑把な枠によるわけである。(イ)

能力主義をとる場合には、個々人の能力差を克明に判定する必要が生じ、b それに対応するメカニズムが当然要求されるのであるが、日本社会においては、そうした判定法が雇用制度として存在しなかったばかりでなく、一般の人々の生活においても能力差に注目するという習慣は、ほかの諸社会に比べて非常に低調である。

伝統的に日本人は「働き者」とか「なまけ者」というように、個人の努力差には注目するが、「誰でもやればできるんだ」という能力平等観が非常に根強く存在している。社会というものは、何らかの方法で人口が組織されなければならないわけで、

c こうした平等主義の社会が発達させた組織は、一定の方式による (C) である。能力平等ということ的前提とするために、その序列はむしろ個々人の能力自体と直接関係のないインデックスをとることになる。(D)、d それは牛年とか、入社年・学歴年数ということになる。実際、日本社会において学歴が大きく取りあげられたり、また、それへの反発が異常なまでに強いということは、この根強い能力平等観に根ざしているといえよう。(ロ)

ある大企業の人事課の方が、能力主義導入方法について、いろいろ話し合っていたとき、日本でも学歴というものによって差をつけていたから、能力で判定していたことになる、といわれたことがあったが、学歴で、一律に個人の能力を判定することは能力主義というよりも反対に能力平等主義である。(ハ) また、在学するということはもちろん個人の能力発掘により条件を与えるものであり、これを無視することも e 妥当ではない。

学歴一律主義や極端な学歴反対主義は、いずれも能力、平等観という本質的に同じ信念から生まれており、違った表現をとるのは、たまたまその主張者の条件・利害が相反

しているからにすぎない。(二)

1. (A)に入る適当なものを選びなさい。

①多かれ少なかれ ②多くとも ③少なくとも ④たくさん

2. (B)に入る適当な言葉を選びなさい。

①みえる ②みられる ③みつける ④考えられる

3. (C)に入る適当な言葉を選びなさい。

①平等 ②システム ③関係 ④系列

4. (D)に入る適当な言葉を選びなさい。

①それで ②そこで ③すなわち ④そして

5. 次の文は(イ)～(ニ)のどこに入るか、記号で選びなさい。

なぜならば、学歴で能力が違うということは、誰でも在学した一定年数分だけ能力をもつということになるから、個人の能力差を無視した考えである。

6. 下線部a「せいぜい」の意味を日本語で説明しなさい。

7. 下線部b「それ」は何を指すか。

8. 下線部c「こうした」とは何を指すか。

9. 下線部d「それ」とは何を指すか。

10. 下線部e「妥当」の発音を平仮名で書きなさい。

四、次のテーマを中心に、日本語で400字の作文を書きなさい。(30点)

旅の感想